

総合学科で学んだこと

第71回卒業式が、2月28日(木)に無事行われました。生憎、晴天とはいきませんでしたが、立派に3年次生が巣立っていきました。

3年間の高校生活はあっという間に過ぎたと思います。1人ひとりが、様々な学びと経験、多くの人との繋がりの中、充実した日々を送ってきたことと思います。

中には、早く卒業したかったという人も少しはいたかもしれません。

これからの人生を悔いのないように過ごしてほしいと思います。



総合学科での学びで、生徒の皆さんがどれほど、またどのような力を培ってきたのかを知るために、3年次生全体に対して、1月中旬、アンケート調査を行いました。

その中から、「学校行事や部活動に積極的に取り組んでいた」人の割合が8割～9割とかなり多く、また、「総合学科の特色ある授業で成長したと思う」と回答した人の割合は、8割くらいで、うれしい結果が見られました。

では、どのような力をつけたのでしょうか？本校では、入学後の学習合宿でKJ法を取り入れたグループ協議を始め、3年間を通じて、グループ学習や自分で課題を見つけ調査し、それを文章にまとめる取組を多く取り入れています。

その成果として、「人と作業するときに、一緒に協力して作業ができる」「自分と異なる意見でも受け止めることができる」「辛いことでも我慢できる」「知らないことでも進んで調べることができる」「高校卒業までに、自分に適した進路を見つけることができた」などにおいては、9割近くの人にそれらの力が培われていることがアンケート調査からわかりました。

課題としては、「課題や目的(テーマ)を分析し、明らかにすることができる」「グループワークやディスカッションで自分の意見が言える」と回答をした人が6割～7割で、他の項目より少なくなっています。今後さらに改善する必要があるのかなと思います。

在校生の皆さんは、先輩に負けないように、「明南での学び」を充実させてください。期待しています。